



日刊 重労千葉

國鐵千葉動力車勞働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936番
| (公) 千葉 (22) 7207番

90.2.14 No. 3160

当即効 A-Bタイプ 勞働条件を示せ

(S) 役員から話しが聞いている。しかし、減らす数だけで、その中身（作業標準）が出ていないし、助役に聞いても全く答なしである。まず、そのことに頭に入るな。作業量がこうで、何人必要で、どう作業を進めるかを話し合うのが当たり前の労使関係と思うけどな。

又々、信じられないような事故が発生した。二月七日、横須賀線で一〇〇キロで走行中の快速が突然、連続器が外れ、あわや大惨事寸前の事故が発生した。

(S) 作業量が大巾に減る
というのなら考える余地
もあるけど、それ以外は
絶対反対だ。

JRになつてから交換な
んかいつもギリギリま
でやつてゐる。しかも、
以前とちがつて修繕ヶ所
も増えている。だから一
ヶ所に時間がかけられな
い、どうしても大ザンパ
になる。機動班も、とに
かくいろいろな故障等が
上がつてくる。今の要員
では対応しきれない現状
だ。こうしたことは、當
局が一番知つてゐるはず
だ。

当局は、「原因はわから
ない」「不可解」と言いな
し、責任をかわすためにの
が汲々としている。

(S) 検修人として二十年
以上やつてきた。若い者はどうか知らないが、俺たちの世代には”職人気質”みたいのがあって検査・修繕し、その車が故障もなく安心して走つていることに満足感というか、やりがいみたいな感じてきた。しかし、JRになつてから、それがなくなつてきて、いるようと思う。当局が、みんなのやる気をなくさせておいて、指針なんかではキレイ事を並べたてる、本

90・3タイ改 合理化阻止！

(●) 昨年二度、ストライキをやりぬきましたが、二・三月決戦についてどうでしようか。

(S) 「ダイ改」について言えば、早急に削減の理由と新しいやり方についてはつきりさせるべきだ仮に強行実施なんかをしたら交検は「ダイ改」以降仕事にならないんじゃをいかね。幕張は、林さんが事業団に送られているし、自分としても三年前の振り分け当時の気持もどつて頑張るつもりだ
— と共に頑張りましょう —

が起つても全く不思議で、いような危機的状況に直している。

今だ、作業標準、労働時間も提示しないなどといふ間も『労組無視』『団交の形がい化』を断じて許してはならない。

最初に人べらしもあり、といった態度の中には、安全も労働者の健康や権利も全く考えていないことがありありとしている。鬨いなくして安全も、安心して働く職場もない。労働者を雑巾程度にしか思っていないJR当局・千葉支社に対し、二・三月決戦ストをたたきつけよう。

境界をこえた検修体制に
備も徹底的に酷使しろ、と
いうJRの姿勢をこれ以上
放置しておくことはできな
い。

JR東日本・1万の
車両が名前!

ではないか。分割・民営化で十万人をこえる人員を削減し、安全を切り捨て當利第一主義へ、当局・JR総連が結託した異常な労務政策、こうしたことから、今日の破局的危機の原因そのものだ。

闘いなくして安全なし。

田園争と結合し、一九〇・
「三ダイ改」阻止にむけ、全
力でたちあがろう。

それ以降も、モーター・M G等の故障、制輪子・カーボン等の異常な摩耗が多発している。故障の増加、人はいない、手ぬき作業等の強要……。これで事故が起きないはずがないのだ。「松任工場のような手ぬき強要」が日常化しているといふ現状を何